

## 白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和2年11月～令和3年2月）

令和2年11月～令和3年2月までの白石踊に関わる高校生の活動について高校生自身に報告文を書いてもらいました。

### 1. ベルギーのルーヴェン大学とのオンライン会議

11月7日に白石公民館長 天野正さんと、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学（オランダ語：Katholieke Universiteit Leuven）とを繋ぐ zoom 会議に私たち金光学園高校の2年生4人も参加させていただきました。ルーヴェン大学は日本でいえば室町時代から続くヨーロッパの名門大学です。ルーヴェン大学の先生と学生が天野さんに白石島の文化や歴史を質問するもので、明治期から1950年代の白石島の漁業や青年団の活動などの生活の様子、白石踊が大阪万博で踊られたことなど、私たちの世代が知らない内容についての説明もあり、とても勉強になりました。

ルーヴェン大学の方々からの質問の視点は、私たちに無いものが多く、白石踊を広める活動をする高校生として文化的、歴史的背景を知ったうえで白石踊に関わりたいと思いました。また、質問の中には私たちの普段の高校生活、部活動に関するものもあり、会議で発言できたことを嬉しく思いました。

（文章：渡邊文奈）



### 2. 風に立つライオン基金の高校生ボランティア・アワード出場・特別賞受賞

今年度も高校生ボランティア・アワードに出場しました。今回はオンライン大会なので、写真のように全国から約100の高校生の団体が画面越しに集まりました。各団体の活動はポスターと動画が主催者（公益財団法人 風に立つライオン基金）のHPに掲載されているので、お互いを知ることができました。

私たちのポスターと動画も掲載されています。エントリーNo.は003です。どなたでもご観覧できます。主催者HP <https://lion.or.jp/>

ダイレクトに探すにはQRコードもお使いください。



前回は特別賞「マイナビ賞」をいただきましたが、今回は特別賞「アイダ設計賞」を受賞できました。私たちが伝統を守ろうとしている思いを汲んでくださったそうです。受賞の際には、白石踊を実際に踊る様子も見ていただきました。





## 5. 兵庫大学主催 第6回現代ビジネスプラン・コンペ 審査員特別賞 受賞

白石踊会笠岡支部に所属する金光学園高校と倉敷古城池高校の生徒3人が合同で、兵庫大学主催の第6回現代ビジネスプラン・コンペに応募しました。「源平合戦の時空体験ツアー」という題名で、地元の源平史跡を巡り、白石踊を習う観光プランです。

今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、現地には行かず、オンラインでの開催でした。また、プレゼンテーションも前撮りだったため、そんなに緊張せずに撮影することができました。しかし、納得がいくまで撮り直さなければいけなかったのが、かなり時間がかかりました。その努力も報われ、審査員特別賞を受賞できたことはとても嬉しかったです。これからも、白石踊を多くの人々に広めるために、継続してコンテストや発表の場に積極的に参加したいと思います。（文章：三澤葵）



## 6. 第8回 岡山高校生ボランティア・アワード参加と山陽新聞に投稿文の掲載

県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」主催の第8回岡山高校生ボランティア・アワードに参加して私たちの活動について発表をしました。他の高校生の発表も聞いて私が思ったことを山陽新聞に投稿したところ、新年の特集で掲載されました。以下に投稿文を載せます。

（文章：西森翔真）

### 山陽新聞 新春プラザ（2021.1.3）

今、多くの無形民俗文化財が存続の危機を迎えている。少子化や過疎化によって伝承者の育成ができないからだ。私は探究授業の一環として、笠岡諸島に約800年間伝わる「白石踊」の伝承活動に取り組んでいる。白石踊も過疎・少子化の影響で後継者不足が課題だ。私たちは白石踊の講習会や海岸清掃に参加したほか、歴史や特徴も学んだ。この活動を「第8回岡山高校生ボランティア・アワード」で発表する機会をいただいた。審査員の方からは「高校生が文化財の保全に取り組んでいることはとても感心する」というお言葉をいただき大変うれしく感じた。

どの高校生の発表も地域活性化や社会貢献の地道な活動で、何年も続けている人や数年がかりで達成した取り組みもあった。運営自体も高校生実行委員会に任されていた。他の高校生たちも頑張っていることに共感と勇気を得た。今後も白石踊を存続させるため積極的に情報を発信していきたいと考えた。



## 7. Be live 優秀賞 受賞

岡山県内のSDGsの取り組みを高校や企業が発表するBe liveという報告会が2021年2月6日にくらしき作陽大学で開催されました。

白石踊の知名度を上げるために、私たちは、Be liveに参加しました。自分たちの取り組みを発表し、他校の生徒がどのような探究活動を行っているのかを知ることができました。また、ハワイ団体「Blue Planet」との合計3回のオンライン会議に参加することもできました。ハワイでのSDGs推進事業についてたくさん教えていただきました。

こうした貴重な経験に基づいて、他校の長所をしっかりと学び、自分たちの不足を補い、これからも一生懸命、白石踊の伝承活動に貢献したいと思います。 (文章：中藤浩文)



## 8. おかやま新聞コンクール 郷土賞 受賞

第10回おかやま新聞コンクールの新聞づくりの部で、白石踊をテーマに私たちが作った新聞が郷土賞「岡山県町村会会長賞」に選んでいただきました。

私たちは探究授業の一環として、約800年以上前から伝わる盆踊り「白石踊」の伝承活動に取り組んでいます。私は白石踊について何一つ知りませんでしたが、校内講習会で伝統と文化に触れ、国の「重要無形民俗文化財」に指定された重みを肌で感じることができました。

活動を通じて、笠岡市の素晴らしい魅力と共に、白石踊を1人でも多くの方に知っていただきたいという自身の強い思いで、新聞の構成・記事の作成にあたりました。特にインパクトのある見出しを表現し、後継者の継承に繋がるよう熱意を込めました。

情報発信の手段の1つでもある新聞で、白石踊の魅力や笠岡市をアピールできたことを非常に嬉しく思います。また、私は由緒ある白石踊の後継者の1人として、伝統を受け継いでいきたいです。

(文章：赤沢梨吏)



# 笠岡新聞

発行日 2020年 11月19日 木曜日

発行者  
金光学園高等学校  
赤沢梨吏・浅田唯吹  
朝原奈菜

## 集え 若者たちよ 後継者の1人に！ ～ 伝統を受け継ぎ 後世へ～



白石踊(重要無形民俗文化財) 引用「笠岡市役所」

### 伝統と文化 八〇〇年以上前から伝わる盆踊り

笠岡沖に点在する約三十の島々「笠岡諸島」の中央に位置する白石島。また瀬戸内海で有名な島としても知られる。盆踊りには、白石一八三年に瀬戸内海で始まったとされる。戦後、盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

ここで、白石島の盆踊りの歴史と文化について、金光学園高等学校の赤沢梨吏さんと浅田唯吹さんが語っています。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

### 白石踊校内講習会への参加 ― 白石踊継承活動を通じて ―



構内講習会の様子 (上・下)

二〇二〇年七月十八日に、金光学園高等学校にて盆踊り講習会を開催しました。盆踊り講習会には、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

魅力の影響を受け、たった一人のある行動で、盆踊りに魅了された一人の男子高校生が、盆踊りを通じて盆踊りの魅力を発信しています。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

伝統の白石踊伝えていく。継承・普及へと、今を考えると、盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

### 笠岡の魅力をお届けし隊！！



道の駅「イファーム」 引用「笠岡市役所」



5月 ぼたん畑 4月 菜の花畑 引用「笠岡市役所」

【世にも珍しい奇岩？】これは白石島のちやうど中央に、丸い形をした奇岩があります。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。盆踊りは、盆踊り祭りで盛んになり、盆踊り祭りの中心地として発展してきた。

鏡岩(天然記念物) 引用「笠岡市役所」

山陽新聞投稿記事掲載 文章 赤沢梨吏(令和二年八月十六日)

以上